

事業名：江別の顔づくり事業（連立事業・街路事業等）

顔づくり推進室都心整備課 都心整備係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	04 市街地整備の充実								
基本事業	01 江別の顔づくり								
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成31年度	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
都心地区（野幌駅周辺地区）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
○都心地区整備計画の作成（関係機関協議、市民住民の合意形成） 【経緯・今後の予定】 ①基本構想（H7～H9）、②素案検討（H10～H15）③基本計画の策定（H16）④都市計画決定（H18）⑤事業実施（H18～H31予定） 【事業の概要】 ①野幌駅周辺の鉄道高架事業（連続立体交差事業 L=約2.4km） ②野幌駅周辺の都市基盤整備事業（街路事業、道路事業）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・野幌駅を中心とした幹線道路網や歩行者ネットワークの整備及び交通バリアフリー化等により、安全・円滑・快適な道路網が形成される。									

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	都心地区の面積	ha	240	240	240	240
対象指標2						
活動指標1	関係機関協議回数	回	2	1	1	—
活動指標2	市民・住民に対する事業計画説明回数	回	3	1	5	—
成果指標1	連立事業の進捗率（累計）	%	95	100	100	—
成果指標2	街路事業の進捗率（累計）	%	50	51	55	—
事業費(A)		千円	285,040	209,250	352,087	213,126
正職員人件費(B)		千円	56,182	60,120	58,598	58,680
総事業費(A+B)		千円	341,222	269,370	410,685	271,806

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
25年度	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（1工区）の物件補償、用地買収 9丁目通の整備工事 高架下駐輪場の整備工事 天徳寺グリーンモールの整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（1工区）の補償費等 161,574千円 9丁目通の工事費等 46,506千円 高架下駐輪場の工事費等 71,420千円 天徳寺グリーンモールの工事費 26,125千円 	

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
江別の顔づくり事業は、市長公約第4次総合計画「15万人都市プラン」の政策基軸に位置付けられ、H7年度より都心地区整備計画の検討を開始した。	
事業を取り巻く環境変化	
<p>「江別の顔づくり事業」は、市の行財政改革と整合を図り、市の身の丈（財政計画）にあった事業規模としつつ、高い事業効果が求められている。 【事業の進捗等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「都心地区整備基本計画」の市民公表（H17年6月） ・連立事業、区画整理、街路事業の都市計画決定（H18年6月20日） ・連立事業の事業認可（H18年11月9日） ・中原通（1工区）の事業認可（H19年6月14日） ・中原通（2工区）及び南大通の事業認可（H21年7月10日） ・野幌駅南通（1工区）の事業認可（H23年5月26日） ・8丁目通の事業認可（H23年5月30日） 	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由根拠 ・幹線道路等の交通基盤整備は、市民の円滑な都市活動と安全で快適な都市生活を支えるインフラ整備であり、市が行うことは妥当である。 （都市計画法に基づいて実施する都市計画事業である。）
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由根拠 市民の「安全で快適な都市生活」の充実に大きく貢献する。 <ul style="list-style-type: none"> ・南北市街地の連絡が強化される。 ・都市交通の利便性が格段に上がる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由根拠 ・平成18年6月20日に「江別の顔づくり事業」に係る都市計画決定を行うとともに、同年11月9日に連続立体交差事業の事業認可を取得し、事業に着手している。 ・平成23年10月23日に新しい野幌駅（鉄道高架）が開業した。 ・平成24年3月12日に南北の市街地をつなぐ中原通が開通した。 ・平成24年6月15日に新しい野幌駅舎が完成した。 ・平成25年1月14日に高架下を通る7丁目通が開通した。 ・平成25年3月21日に高砂地下歩道が開通した。 ・平成25年10月10日に高架下駐輪場が完成した。 ・平成25年12月27日に9丁目通が開通した。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由根拠 「江別の顔づくり事業」は、市民住民からの意見・要望が多く寄せられるなど、市民の関心の高い事業であることから、今後、事業の円滑な展開を図っていくためには、より一層の市民・住民との話し合いや情報提供に努める。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由根拠 北海道積算システムの導入により事務処理の迅速化を図っており、また設計単価等についても統一単価を使用しており削減は難しい。